

【学校教育目標】

『自立への芽を はぐくむ ～考えます、助けます、動きます、いっしょにチャレンジきょうわっ子～』



まようわっ子

【在籍 133 名】 ①14 ②22 ③21 ④22 ⑤26 ⑥28

大仙市立協和小学校
学校報

2024. 8. 23

<No. 18>

【文責：校長】

前期後半スタート！！

32日間の暑い暑い夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。（大仙市の小中学校は2学期制を採用しており、今年度の前期は10月11日（金）まで、短い秋休みを挟んで、後期は10月21日（月）からのスタートとなります。本校は今年度、学習発表会を「きょうわ祭」とのタイアップで行いますので、大仙市の他の学校と秋休みの期間は多少ずれています）

前期後半初日に行われた夏休み明け集会では、4年生の〇〇 〇〇さんと、6年生の〇〇 〇〇さんの2人から、『夏休みの思い出や、前期後半にがんばりたいこと』についての発表がありました。二人とも、テレビカメラが2台も入った中で堂々と発表でき、とても頼もしかったです。

集会の中では、学級目標の達成に向けた5年生の取り組みについても紹介しました。5年生は、毎月自分たちで決めた学級目標に近づくことができただろうか振り返りをしています。課題については、作戦を考えて克服できるように取り組みを進めていました。前期の終業式を一つのゴールととらえて、それぞれの学級でもみんなでチャレンジしてほしいと思います。



また、終業式の次の日には、前期の集大成となる「学習発表会」が行われます。自分たちの学習の成果を地域の方々の前で発表する貴重な機会となります。みんなで力を合わせ、元気なきょうわっ子の姿をみなさんに見ていただきたいと思います。初めての試みですが、「考えます、助けます、動きます、いっしょにチャレンジきょうわっ子」の合言葉で挑戦したいと思います。

夏休み明けの教室では・・・

「夏休みの思い出発表会」や「作品紹介」などがそれぞれの学年で行われていました。一斉メールでお知らせしたとおり、初日から2つのテレビ局が取材に訪れるなど、メディア大注目の協和小学校でした。カメラが教室に入ったり



マイクを向けられたりしても、物怖じせず、自分の言葉で話し、笑顔でインタビューを受ける子どもたちの姿に驚かされました。AABのアナウンサー「金井鉄馬」さんは

「マイクを向けると次々に答えてくれる賢い子どもたちだな、と感じました。みんなからいっぱい元気をもらいました。」と話してくださいました。ますますメディアからの注目を集めそうです。



